

『幸せを奏でる
四重奏』



【特集】

新任職員紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 皮膚科
- くまびょう TOPICS
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査および相談について

新型コロナウイルスの検査が保険適応となりましたが、当院では対応しておりません。
また、発熱外来も行っておりません。

現時点では保健所と相談のうえ適応を判断し、保健所へ依頼しております。

新型コロナウイルス感染症に係るご相談については、受診される前にお住いの地域の保健所
相談窓口（帰国者・接触者相談センター）にご相談ください。

新任職員紹介



循環器内科医師

日下 裕章

くさか ひろあき

循環器内科の日下裕章と申します。熊本大学大学院卒業後、宮崎県立延岡病院に勤務し冠動脈治療を中心に勉強しておりました。これまでの経験を活かし、熊本の医療に貢献できるようにがんばります。どうぞよろしくお願い致します。



循環器内科医師

野津原 淳

のづはら あつし

4月より循環器内科で勤務させていただいております野津原淳です。2017年より2年間熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただき、再び今年から熊本医療センターで勤務させていただくこととなりました。多くのことを勉強できればと思います。よろしくお願い致します。



眼科医師

木山 優

きやま ゆう

今年度より眼科で勤務させていただいております、木山優と申します。まだまだ経験が浅く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、病院と地域に貢献していけるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



外科医師

武末 亨

たけまつ とおる

外科の武末亨と申します。5年間福岡県の病院で研修し、熊本県で働くのは2年目になります。熊本の救急医療とがん治療に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



外科医師

田尻 拓哉

たじり たくや

初めまして。外科で勤務させていただいております田尻拓哉と申します。救急病院として地域医療の中核を担う当院に少しでも貢献できるよう、また、患者さまの力になれるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



外科医師

金光 紘介

かねみつ こうすけ

こんにちは。外科 金光紘介と申します。熊本大学出身で学生時代はサッカー部に所属しておりました。まだまだ経験の少ない身ですが精一杯頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



血液内科医師

今金 大輔

いまかね だいすけ

4月より勤務させていただいております、血液内科の今金大輔と申します。八代の熊本総合病院で1年研修をした後、大学病院で3年間働いておりました。至らぬ点が多くご迷惑おかけすることがあるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。



血液内科医師

村田 克美

むらた かつみ

血液内科の村田克美と申します。初期研修を熊大病院、熊本総合病院で行った後、熊大病院血液内科に入局しました。入局後は大学病院で1年間勤務し、今年度が入局2年目になります。いろいろご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



産婦人科医師

山本 直

やまもと なお

産婦人科の山本 直と申します。2013年から2017年9月まで当院でお世話になり、その後2年半の間、大学病院にて研鑽を積んで参りました。医学の学問的な部分、臨床的な部分の両方を大切に、そのバランスをもって診療に臨みたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科医師

東 哲生

ひがし てつお

4月から、消化器内科で勤務させていただいております東哲夫と申します。

地域と病院に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



消化器内科医師

馬見塚 大悟

まみづか だいご

4月より消化器内科で勤務させていただいております馬見塚大悟と申します。これまで熊本大学病院、公立玉名中央病院で初期研修、レジデントとして勤務しておりました。まだまだ経験が浅くご迷惑をおかけすることもあると存じますが御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



小児科医師

永芳 真理子

ながよし まりこ

小児科の永芳 真理子と申します。当院には、免疫疾患、アレルギー疾患の専門外来があり、県内各地からこども達とご家族が受診されます。急性期も含めて、普段の生活を支えるお手伝いができるよう日々勉強中です。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科医師

松永 英士

まつなが えいじ

今年度から腎臓内科で勤務することになりました松永英士と申します。腎疾患、透析など幅広い分野で熊本の急性期医療に貢献出来ればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



整形外科医師

福田 和昭

ふくだ かずあき

平成11年に卒業し熊本大学の関連病院で勤務してきました。前任の熊本中央病院勤務時から脊椎外科を中心に診療するようになり当院でも主に脊椎外科を担当していますが、外傷の経験については学ばなければいけないことが多いと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科医師

満瀬 葉介

みつせ ようすけ

4月から整形外科で勤務させていただいております、満瀬葉介と申します。外傷や骨折の症例が多い病院ですので、貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



整形外科医師

宮崎 誠大

みやざき あきひろ

4月から整形外科で勤務させていただいております、宮崎誠大と申します。

熊本医療センターで勤務するのは初めてであり、まだまだ不慣れな点多いと思いますがたくさん症例を経験して勉強できればと思っております。

よろしくお願いいたします。



総合診療科医師

國友 耕太郎

くにとも こうたろう

総合診療科の國友耕太郎です。
自治医科大学を卒業後、熊本県のへき地医療に従事して
きました。
4月から当院総合診療科に所属しています。
この病院を盛り上げていくうちの1人になりたいと思いま
す。
よろしくお願いいたします。



糖尿病・内分泌内科医師

小林 由佳

こばやし ゆか

4月から糖尿病・内分泌内科で勤務させて頂いております
小林由佳と申します。経験も少なく勉強中の身ですが、地域
の医療に貢献できるよう精進して参ります。よろしく願い
申し上げます。



脳神経外科医師

宮崎 愛里

みやざき あいり

脳神経外科医師の宮崎愛里と申します。熊本医療センター
にて2年間研修を行った後に大学病院にて勤務し、また帰っ
てくることとなりました。開頭手術から血管内治療まで幅広
く経験を積んでいきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の
ほど宜しくお願い申し上げます。



精神科医師

落合 翔

おちあい しょう

精神科の落合翔と申します。4月より熊本医療センターで
勤務させて頂いております。あたたかい精神科医療を心
がけ、地域に貢献していきたいと思っております。ご迷惑を
お掛けすることもあるかと存じますが、宜しくお願い致しま
す。



精神科医師

荻野 肅

おぎの きよし

精神科の荻野肅と申します。熊本大学病院、酒井病院（天
草市）を経て、4月から当院で勤務させて頂いております。
精神科の領域で皆様のお役に立てるよう努めてまいりま
す。なにとぞよろしくお願い致します。



精神科医師

的場 祐二

まとば ゆうじ

精神科の的場と申します。熊本医療センターは、数年前に
臨床研修マッチングでマッチしなかった思い出深い病院であ
り、今年度から勤務できることを嬉しく思っています。若輩
者ではありますが、熊本の医療に貢献できるよう精一杯努め
ます。よろしくお願い致します。



精神科医師

森並 次朗

もりなみ じろう

今年度より精神科医として勤務させて頂いております。
前年度は熊本大学病院におりました。いままで学んだこ
とを還元し、患者さまのために皆様と共に尽力したい所存で
す。どうぞよろしくお願い致します。



泌尿器科医師

山中 達郎

やまなか たつろう

今年度の4月から泌尿器科にて勤務させて頂いており
ます山中達郎と申します。
2017年に熊本大学泌尿器科へ入局し、公立玉名中央病院
での勤務を経て当院に赴任してまいりました。
数年前には同じ泌尿器科医である兄も当院に勤務してお
りましたので、兄弟ともに熊本医療センターの地を踏むこと
となりました。
まだまだ未熟な身ではありますが、病院と地域のために貢献
できるように頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



皮膚科医師

小林 温子

こばやし あつこ

4月から皮膚科で勤務させていただいております小林温子と申します。

様々な方に助けて頂いており、まだ慣れない中ではありますが、お役にたてればと思っております。

色々とお迷惑をお掛けするかと存じますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



病理診断科医師

横尾 貴保

よこお きほ

こんにちは。病理医2年目を熊本医療センターで過ごさせてもらうことになりました。病理診断科は患者さまの体から採取された病変を顕微鏡で観察し、診断をつけることが主な仕事です。病理診断を通して、適切な治療選択に貢献できればと思います。まだまだ勉強中の身ですが、どうぞよろしく申し上げます。



麻酔科医長

菊池 忠

きくち ただし

4月より麻酔科に勤務させていただくことになりました菊池と申します。私は平成10年に鹿児島大学を卒業し同大麻酔科に入局、平成25年より済生会熊本病院救急科勤務を経て、現在に至ります。患者さまが安心して手術を受けられるよう微力ながら努力していこうと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



麻酔科医師

田中 健一

たなか けんいち

4月から麻酔科で勤務させていただいております、田中健一と申します。

病院と地域に貢献できるように努めてまいります。宜しく申し上げます。



麻酔科医師

森 泰樹

もり たいき

初めまして、麻酔科の森と申します。今年度初めて熊本医療センターに勤務いたします。これまでの経験を活かし熊本医療センターと地域に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



麻酔科医師

鶴田 優

つるた ゆう

麻酔科の鶴田優と申します。当院で初期研修を行い、大学病院で勤務し、戻って参りました。再び当院で働かせていただくことに日々喜びを感じております。まだまだ経験の少ない身ではございますが、病院と地域に貢献できるよう努めてまいります。何卒よろしくお願い致します。



歯科医師

早川 真奈

はやかわ まな

歯科医師の早川真奈と申します。母校の九州歯科大学で研修、学位取得、その後教員として勤務してまいりました。これまでの経験を活かし、貢献できるよう精進したいと思います。わからないことが多くご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



VOICE

登録医の声

くまもと免疫統合 医療クリニック

あかぎ じゅんじ
院長 赤木 純児



◆貴院のアピールをお願いします

癌細胞は自分が攻撃されないように、所謂シールドをはっています。この状態では免疫細胞は癌細胞を攻撃できません。ノーベル賞を受賞された本庶佑先生の研究から開発されたオプジーボという抗体はこのシールドを解除する薬です。オプジーボがほんとうに効けば癌細胞を殲滅することができます。オプジーボがほんとうに効くためには、患者さまの免疫細胞が元気でなくてはなりません。我々は、ハイパーサーミアと水素ガスで患者さまの免疫を元気にしながら、抗癌剤やオプジーボを使用しています。こういう方法を用いることで、他院でPDと見なされた患者さまでも、1年、2年、3年と延命されて治療を継続されています。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

ランニングは趣味の一つです。数年前まで、熊本城マラソンに連続で5回出場し完走しました。現在は時間がなく、暇なときに数キロをジョギングするくらいです。ゴルフも趣味の一つです。週末は打ちっぱなしに練習に行きます。ラウンドは月に1回くらいです。お酒は特に日本酒が好きですが、飲み過ぎると最近は記憶を失うことがあるので、控えめにしています。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

いつでも、どんな患者さまでも、快く引き受けてくださる、熊本医療センターの医療体制には感謝しています。がんの患者さまを相手にしていると、急変はつきものですので、これからもよろしく願いいたします。

【診療科目】

腫瘍内科、胃腸内科、外科、乳腺内科、婦人科

【診療時間】

月～金 午前 9:00～12:00
午後 13:30～18:00

【休診日】

土・日・祝日・年末年始など

【住所】

〒861-1114 熊本県合志市竹迫 2249-2

【TEL】

096-277-1205

【FAX】

096-277-1206



最近のトピックス

くまびょう皮膚科
セファゾリン供給低下始末記

国立病院機構熊本医療センター
皮膚科部長

まきの こうじ
牧野 公治



2018 年末、後発品原薬の不溶性異物混入等に端を発した第 1 世代セフェム系抗菌薬「セファゾリン」(CEZ) の供給低下は、入院診療に大きな混乱をもたらしました。アンピシリン・スルバクタム (ABPC/SBT) の供給不安定が一時重なったのも災いしました。

この件は当科にとっても大問題でした。当科の新入院患者数は年間約 365 名、うち約 3 割が蜂巣炎や丹毒といった細菌感染症です。起因菌は β 溶血性レンサ球菌 (BHS) 及びメチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (MSSA) が大多数ですが、両菌に対して最も有効な抗菌薬がペニシリン系、次いで第 1 世代セフェム系なのです。代替薬として第 2・3 世代セフェム系などが挙げられますが、両菌に対する活性は劣り、グラム陰性桿菌など関係ない菌にまでも作用するので耐性菌の出現や菌交代現象を助長し、今後の診療への悪影響が懸念されます²⁾。

我々はベンジルペニシリン (PCG) に注目しました。β ラクターマーゼ産生 MSSA には無効ですが BHS や β ラクターマーゼ非産生 MSSA には著効します。血液培養、抗ストレプトリジン-O 抗体検査だけでなく、皮膚科ですら紫斑や水疱といった BHS 感染を示唆する皮膚所見³⁾ から BHS が起炎菌と思われる症例を狙い、使用しました。PCG は半減期が短いので点滴なら 1 日 6 回投与が原則で、手間がかかるのが弱点です。しかしインタビューフォームには 1 号液に溶解すれば半日は薬剤が安定して

いるとあり、200ml の 1 号液に 400 万単位を溶かして 1 日 3 回、または 600 万単位を溶かして 1 日 2 回、持続点滴することでより簡便な投与が可能です。

幸い比較的早期に ABPC/SBT を使用再開できたので 2019 年中 6 例の使用にとどまりましたが、初期の 2 例はクリンダマイシン併用、後の 3 例は単独で使用し奏功しました。持続点滴はせん妄 (6 例中 1 例がこれで脱落) やカテーテル関連血流感染やリスクがあり、また PCG1 日量 1200 万単位に含まれるカリウムは 18.36mEq と 3 号液 2 本弱に相当し、腎不全患者では注意が必要です。CEZ に取って代わるまではいきませんが、皮膚感染症治療の選択肢になりうると思います。

今回、PCG 点滴は極力早期に終了し、その後は内服薬の第 1 世代セフェムであるセファレキシン (CEX) 500mg を 1 日 3 ~ 4 (腎機能中等度低下時は 2) 回用いました。CEX は BHS や MSSA 中心のスペクトラムで抗菌活性は良い上に他菌への影響は最小限で済みます。バイオアベラビリティ (内服後、吸収され実際にどの程度血液中に取り込まれるか) が 90% と高いのも特長です (表)。第 2 世代のセファクロルは半減期が短くてアレルギーが比較的起きやすく、マイナス面が目立ちます⁴⁾。第 3 世代セフェム系やペネム系、カルバペネム系は先述のごとく両菌に抗菌活性は劣る上にバイオアベラビリティは半分未満ないしデータ無しで、少なくとも皮膚細菌感染症での効果は期待できないと考えられます。

今年 1 月末から CEZ が再度使用可能になり、問題はひとまず解決しました。この経験を機に今後皮膚 (に限りませんが) 感染症治療において各症例に対しより適切な抗菌薬選択を考えていかねばならないと思いました。

<文献> 1) Raff AB et al. JAMA. 2016; 316: 325-37.
2) 岡秀昭. 感染症プラチナマニュアル 2020, MEDSI.
3) 西村 (平井) 千尋ほか. 臨床皮膚科. 2013; 67: 597-02.
4) 永田理希. jmed. 2017; 48: 64-67.

(表) 主な内服抗菌薬のバイオアベラビリティ

一般名	代表的商品名	バイオアベラビリティ (%)	一般名	代表的商品名	バイオアベラビリティ (%)
セフェム系 (括弧内は世代)			リンコマイシン系		
セファレキシン (I)	ケフレックス	90	クリンダマイシン	ダラシン	90
セファクロル (II)	ケフラール	93	ニューキノロン系		
セフトキシム (以下、III)	パナン	48	レボフロキサシン	クラビット	99
セフトキシム・ピボキシム	フロモックス	30*	シプロフロキサシン	シプロキサシ	70
セフトレキシム・ピボキシム	メイアクト	16	サルファ剤		
セフトジニル	セフゾン	25	スルファメトキサゾール/トリメトプリム	バクタ	90~100
ペネム系			オキササイクリン系		
ファロペネム	ファロム	20 (ラット)*	ミノサイクリン	ミノマイシン	90*
カルバペネム系			ドキシサイクリン	ビブラマイシン	90
エタペネム・ピボキシム	オクタペネム	44.9 (サル)*	マクロライド系		
ペニシリン系			クラリスロマイシン	クラリシッド	50
アモキシシリン	サワシリン	80	アジスロマイシン	ジスロマック	37
アモキシシリン/クラブラン酸	オーグメンチン	75*	ホスホマイシン系		
アンピシリン/スルバクタム	ユナシン	40*	ホスホマイシン (カルシウム塩)	ホスミシン	12

日本建薬サンフォード感染症治療ガイド (アップグレード版) をもとに作成。2019.5.16 閲覧。①小児感染症 2013; 24: 302-310。②感染症プラチナマニュアル 2019。③感染症プラチナマニュアル 2017。④インタビューフォームより

くまびょう TOPICS

4/15 (水) | 人工呼吸器「エビタ」の
4/17 (金) | 説明会を開催しました

ME

【筆者】臨床工学技士長：田代 博崇

4月15～17日に医師、看護師、臨床工学技士を対象とし、年度末に納入された人工呼吸器「エビタ」の説明会をICUにて開催しました。この人工呼吸器はすでに当院に採用されている「ザビーナ」と同じドレーゲル製ですが、「エビタ」はその中でも最上位機種のシリーズになります。今回は「エビタV500」と「エビタV300」がそれぞれ1台ずつ納入されました。今後、集中治療領域での活躍が期待されます。

【場所】ICU



5/1 (金) | 心臓リハビリテーションを
開始しました

カ

【筆者】運動療法主任：福山 浩二

5月1日より循環器内科の藤本先生、松原先生を中心に心臓リハビリテーションを開始しました。心臓リハビリ室ではPhase II (回復期)の方を対象とし運動療法、運動耐容能評価自宅退院に向けた生活指導の内容を集団リハビリとして行います。なお心臓リハビリ室には様々な設備 (In Body, CPX検査, ロボットスーツ, 筋力トレーニングマシン各種) を揃えております。興味のある方はリハビリテーション室までいらして下さい。

【場所】リハビリテーション室



5/1 (金) | ポータブル撮影装置を
新規導入しました

放

【筆者】特殊撮影主任：木山 量平

COVID-19感染対策としてポータブル撮影装置を新規導入しました。それに伴いCOVID-19陽性患者さま専用のポータブル装置を確保することが可能となり、院内感染防止により一層努めていきたいと思っております。

【場所】病棟



Step4 外構工事中!!



新館 (増築棟) は、皆様のご理解とご協力により、3月2日に運用を開始することができました。次のスケジュールとして外来棟改修工事を予定しておりましたが新型コロナウイルスの影響により資材の調達等十分な準備ができなため、現在工事は延期となっております。また、新館のオープンに伴い売店等があった仮設棟の撤去工事及び新館周辺の外構工事 (芝貼り) を行っております。今後の見通しは立っておりませんが順次できる限り改善を行ってまいります。皆様には引き続きご迷惑をおかけすることとなり申し訳ありませんが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今後のスケジュール予定

(※今後のスケジュールの見通しが立ち次第皆様には情報提供いたします。)

外来棟改修工事：Step 4 2020年3月～2020年12月

(新型コロナウイルスの影響にて延期)

企画課 業務班長
菊池 仁

Hitoshi Kikuchi



2020
6月

研修日程表

研修日程表への問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
QRコード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ（<https://kumamoto.hosp.go.jp>）をご参照ください。

◎ 二の丸モーニングセミナー

日時 6月4日・11日・18日・25日
毎週木曜日 8:15～8:45
場所 研修センターホール

◎ 小児科火曜会

日時 6月23日（火）
19:00～21:00
場所 研修室1
※会場変更の可能性があります

※新型コロナウイルス感染症の影響で、予定が多数中止となっております。
最新の情報につきましては当院ホームページでご確認をお願いいたします。
新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

医学生のための臨床研修説明会のお知らせ

平素より研修医の地域医療研修等についてご協力頂き、厚くお礼申し上げます。この度、当院では医学生を対象とした臨床研修説明会を下記の通り実施することとなりましたのでご案内申し上げます。

説明会では指導者及び研修医も参加し、医学生との意見交換や病院機能・研修内容等についての紹介を行います。当院の事を理解してもらう良い機会ですので、ご興味をお持ちの医学生がおられましたら是非ご案内いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルスによる多大な影響が各方面に出ておりますが、その点十分に配慮した上で実施いたします事を申し添えます。

（教育研修部長 境 健爾）

医学生のための臨床研修説明会

日時：令和2年6月28日（日） 時間調整中

場所：国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センターホール

詳細につきましては当院 HP をご確認ください

<https://kumamoto.hosp.go.jp/rinken-index/rinken-setumeikai/>



患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話

096-353-6693

直通 FAX 096-323-7601

受付 平日 8:30～17:00

熊本医療センター
地域医療連携室副室長

とみたか えつし
富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 小野 恵子(午前再診)	小野 恵子(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)
	呼吸器センター	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前のみ) 小野 宏 (午前紹介のみ)原 英記	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)
	感染症内科		(午前のみ)小野 宏	(午前のみ)小野 宏		(午前のみ)小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑 (富田 正郎)	中村 朋文	松永英士	富田 正郎
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟
	内視鏡	午前 中田 志茂田(東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東(志茂田)
	午後	東 志茂田 馬見塚(中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野(松山)	中田 上野 馬見塚(石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野(志茂田)	杉 松山 志茂田	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 裕章(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週新患) 野津原 淳(隔週新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 田山 信至(新患)
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大湖 一太	山下 建昭
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡
小児科	診察	水上 智之 永芳 真理子	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 永芳 真理子
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美
外科	小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生	
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里
	(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大
泌尿器科	前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘刈 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔	
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直	
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 宮崎 洋子 木山 優	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 木山 優	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 木山 優	
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗	
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹	
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士				
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子				
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)		(午前のみ) 古庄 千代 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文			中川 文雄	中川 文雄
救命救急センター		原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、沢尻 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史				
				木村 文彦		宮内 大介
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他	薬剤師
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。 R2/6/1

令和2年6月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター

